

## 全国大会佐賀大会レポート

70周年記念委員会

副委員長 高茂亮太

今回の全国大会は10日に福岡へ前入りし、翌11日朝から佐賀市文化会館で開催されたフォーラムに参加しました。初めてこれほど多くのフォーラムを受講する機会を得ることができ、大変充実した学びの時間となりました。

特に印象に残ったのは、「まちの未来を、あきらめない。誰かじゃなく、私たちがつくる“これから”」をテーマとしたフォーラムです。登壇したスザンヌ氏は、日常生活の中で感じる地域の温かさや人とのつながりを例に挙げ、「暮らしの中の小さな行動が、まちを変える第一歩になる」と語りました。その言葉に、地域課題の解決は制度や組織だけでなく、私たち一人ひとりの意識と行動によって生まれるのだという気づきを得ました。また、地方創生や地域ブランド、教育など多様なテーマに触れられたことも大きな刺激となりました。それぞれのフォーラムを通じ、地域を支えるために必要なのは「他人任せにしない姿勢」と「自ら学び、行動し続ける力」であると実感しました。大会式典、卒業式では、担当LOMの理事長や実行委員長の想い、そして卒業生の言葉に胸を打たれました。今年の卒業式ではモーニング娘。がゲストとして登場し、会場は世代を超えた一体感に包まれました。毎年、その年度ならではの趣向が凝らされており、誰が登場するのかも毎回楽しみです。最終日には、バルーン搭乗体験にも参加しました。佐賀はバルーンが有名なことも知らなかっただけで、地域の魅力を感じる貴重な経験となりました。全国大会として佐賀を訪れなければ得られなかっただけの体験であり、この地ならではの文化を知る良い機会にもなりました。

全国大会は、地域ごとに特色があり、行くたびに新しい学びと出会いがあります。今回の佐賀大会を通じ、まちづくりや地域の未来を自分ごととして考えるきっかけを得ることができました。今後もこの貴重な機会を大切にし、積極的に参加していきたいと思います。

